

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

奥州市長 倉成 淳

市町村名 (市町村コード)	岩手県奥州市 03215	
地域名 (農林業センサスにおける地域内農業集落名)	水沢 羽田地区 (森、上組、芦ヶ沢、下組、外浦、黒田助、北鶺ノ木、栗ノ瀬、麦屋、東町、下屋敷)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年12月5日 (第1回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

・個別農家ができる限り農地を耕作している状況であり、後継者がいない。(北鶺ノ木、麦屋、外浦、黒田助、川前、田茂山)
 ・小規模兼業農家が多く、作業委託する農家がほとんど。(森)
 ・一部法人で耕作しているが、基本的には個別農家経営であり、法人含め後継者の確保に苦慮している。(羽黒堂、芦ヶ沢、御山下)
 ・水田の受託者がいない。また、一部の担い手・兼業農家への負担が多くなっていることから、新たに担い手の育成と農家組合が必要だが、賦課金も高く、農業で生活できるかが不安。(川前、田茂山)
 ・10～30a区画の水田が多く、小区画や形状が悪い区画、一部畑等もある。(川前、田茂山、羽黒堂、芦ヶ沢、御山下、外浦、黒田助)
 ・水沢江刺駅や江刺や水沢市街地にアクセスしやすい事から転用し宅地化している。(北鶺ノ木、麦屋)
 ・北上川沿いに面しており、排水が良くないほか、大雨時には冠水してしまう。(北鶺ノ木、麦屋、川前、田茂山)
 ・街場も近く、早朝の農作業に苦情が来る地域もある。また、バイパスの大きな道路が出来た事で、機械作業が難しい水田もある。(川前、田茂山)
 ・鳥獣やカモシカ、アナグマなど出没するが、農作物などへの被害はまだない。(北鶺ノ木、麦屋)
 ・クマやたぬき、ハクビシンなどがでて、ともろこしなどを食べる。一部空き家に住み着いている。(川前、田茂山)
 ・日本シカ、カモシカが下りてくる。熊などの害獣被害もある。(羽黒堂、芦ヶ沢、御山下)
 ・イノシシやサギなどが歩いている。(黒田助)
 ・川の回りの農地は比較的働きやすいが、山沿いは斜面が多く草刈りが大変である。(外浦)
 ・山沿いでは、耕作放棄地もある(羽黒堂、芦ヶ沢、御山下)。年々耕作放棄地が増えてきている。(外浦)
 ・北上川沿いは河川敷の管理に影響を受けているほか、山沿いでは、農地に土砂体積もみられる。また、農地に面する道路や水路の草刈り、泥上げなどの維持管理が大変である。(黒田助)

【地域の基礎的データ】

・法人:2法人、個人担い手:8経営体
 ・主な生産品目…水稻、大豆 など

(2) 地域における農業の将来の在り方

<ul style="list-style-type: none"> ・後継者がいないため、今農業をしている人がどれだけできるかにかかっている。引き続き稲作を中心に野菜などを作っていくが、10年後まで作っていくのか見通しがたっていない。(北鶺ノ木、麦屋、川前、田茂山、森) ・地区外の方に農作業委託等頼みながら農地を維持管理していく。(北鶺ノ木、麦屋) ・宅地化が進むところは宅地とし、大雨時の冠水エリアは農地として維持していく事は難しいため、川の一部として林に戻すことになるかもしれない。(北鶺ノ木、麦屋) ・個々でできる限り営農しながら、地域で営農組合(生産組合)の組織も検討していく。(川前、田茂山) ・水田の区画を可能な限り20a以上に広げ、作業の効率を上げていく。また、協同での水路清掃を継続していく。(川前、田茂山) ・川沿いの比較的平坦なエリアで水稻を耕作し農地として活用し、山手のエリアはできる限り保全管理していくが、森林に戻っていく可能性が高い。(羽黒堂、芦ヶ沢、御山下) ・個々でできる限り農業を営んでいくが、協業できる部分を組織化(できれば法人化)して農業を維持するとともに、地域組織へ集積・集約化し効率的な営農を展開する。(羽黒堂、芦ヶ沢、御山下、外浦、黒田助) ・有害鳥獣対策に取組、ジビエの活用を模索する。(羽黒堂、芦ヶ沢、御山下) ・地区内で賄えない部分は外部組織に作業委託を出すなど、近隣地域との連携をとっていく。(外浦、黒田助)
--

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	324.2 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	324.2 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域等直接支払の対象農用地を含む農振農用地内農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、耕作が難しい区域又は林地、北上川との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

<p>(1) 農用地の集積、集約化の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離農、規模縮小が生じた場合には、近隣の農業者を中心に集積、集約を図り、農作業委託で農地をできるか限り耕作する。(北鶺ノ木、麦屋、川前、田茂山) ・離農、規模縮小が生じた場合には、近隣の農業者を中心に集積、集約を図り、農業委員等と調整して農地中間管理機構を通じた貸借を進める。(外浦) ・小規模農家が離農するときは、担い手と十分な話し合いを進め、農作業の効率化につながる農地の集約を進める。(森、羽黒堂、芦ヶ沢、御山下、黒田助)
<p>(2) 農地中間管理機構の活用方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理機構を介して、担い手への面的集積を促進する。(森) ・個別で管理困難となった場合は、農地中間管理機構を活用し、段階的に農地を集約化する。(羽黒堂、芦ヶ沢、御山下、外浦、黒田助、川前、田茂山)
<p>(3) 基盤整備事業への取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すでに基盤整備事業は実施済みで圃場整備は予定ない。(森) ・圃場整備の予定はないが、条件が良いところはほ場整備し、集積集約化をはかる。(羽黒堂、芦ヶ沢、御山下、黒田助) ・営農を続けていく農地(川の側のエリア)については、簡易な基盤整備による区画拡大のほか、暗渠排水などを行い、農作業の効率化を図っていく。(外浦)

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> ・機械のレンタル事業や短期のバイト募集により、耕作してくれる人を見つけていく。(川前、田茂山) ・法人化し、組織的に集約しながら、基盤整備、有機農業、ジビエの活用に取り組む。(羽黒堂、芦ヶ沢、御山下) ・認定農業者のほか、新規就農者など地域内外から多様な経営体を確保するため、JA、県などの関係機関に相談しながら農作物の栽培技術の継承を行っていく。(森、外浦、黒田助)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input checked="" type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

- ①個々でネットを張ったり、電気柵の補助金を利用して取り組む。(川前、田茂山)
ジビエを活用。(羽黒堂、芦ヶ沢、御山下)猟友会組織をしっかり。イノシシ、シカ、サギ、白鳥。(黒田助)
- ②酪農家とタイアップする。(羽黒堂、芦ヶ沢、御山下)有機をやらないと量がとれないため、農協の指導の元取り組んでいる。(黒田助)JAの指導のもと取り組む。(川前、田茂山)
- ③GPSトラクタ(耕起、代掻き、大豆播種機)、ドローン防除等に取り組む。(森、北鶺ノ木、麦屋)
組合組織や協業で購入を検討する。(外浦、黒田助)
- ⑥ゴマやクルミなどを外部委託し作ってもらう。(外浦)
- ⑦今後も中山間地域等直接支払交付金等の事業を活用し、農地や農道等の保全管理のための取組を進める。(川前、田茂山、羽黒堂、芦ヶ沢、御山下、外浦、黒田助)
多面的機能保全活動により水路・畦畔・農道の定期的な点検・維持・保全作業を行う。(森)
- ⑨機械のレンタル事業や短期のバイトなどを活用し、働きやすい環境をつくる。(川前、田茂山)用排水路の改修、山水のコントロール。(黒田助)